

プラスチック資源の循環利用促進に関する検討部会

(埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム)

構成メンバー(109者)

<企業会員(75者)>

アスクル株式会社 株式会社あらた 株式会社アルビオン イオンモール株式会社 伊田テクノス株式会社
石塚化学産業株式会社 株式会社岩井化成ウォータースタンド株式会社 ウム・ヴェルト株式会社 株式会社エコ計画
株式会社エコスファクトリー 株式会社エコバンク エスビー食品株式会社東松山工場 株式会社エム・エル・エス
オリックス資源循環株式会社 株式会社カインズ 花王株式会社 株式会社カネカGreenPlanet推進部
カネパッケージ株式会社 株式会社亀屋 川上産業株式会社北関東営業所 株式会社環境サービス
株式会社菊池化成 株式会社きぬのいえ 株式会社木下フレンド キムラセンイ株式会社 協和産業株式会社
栗田工業株式会社 株式会社警備ログ 株式会社ケーヨー 株式会社甲商 株式会社光和製袋 彩源株式会社
株式会社埼玉りそな銀行 サニーポット株式会社 株式会社サムズ サラヤ株式会社 サンケン電気株式会社
株式会社ジモティー 有限会社昭和メタル シンテゴンテクノロジー株式会社 株式会社関商店
株式会社セブン&アイ・フードシステムズ 株式会社セブン-イレブン・ジャパン 株式会社大誠樹脂
大成ラミック株式会社 株式会社ダイエー 大日本印刷株式会社情報イノベーション事業部 館野商事株式会社
株式会社中央化学 ツネイシカムテックス株式会社 株式会社TBM 東武商事株式会社
トルムスイニシエイト株式会社 中村化成工業株式会社 中村産業株式会社 合同会社HAYAMI
株式会社パルコ浦和店 株式会社ヒガシヤデリカ東松山工場 株式会社フェニックスエンジニアリング

事務局(発表者):資源循環推進課

<1>

プラスチック資源の循環利用促進に関する検討部会

(埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム)

構成メンバー(109者)

藤田ゼロファン産業株式会社 株式会社プロトリーフ 株式会社平泉洋行 株式会社平和化学工業所
株式会社ホーライ 真韻株式会社 前田道路株式会社 株式会社丸栄商店 株式会社武蔵野銀行
株式会社ユーアイ社 ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社 ライオン株式会社
株式会社リテラ リバーホールディングス株式会社 和光紙器株式会社

<消費者・業界団体会員(9者)>

朝霞市リサイクルプラザ企画運営協議会 エコ鶴市民の会 埼玉エコステージ研究会
一般社団法人埼玉県環境産業振興協会 埼玉県地域婦人会連合会 新日本婦人の会埼玉県本部
一般社団法人NIPPON紙おむつリサイクル推進協会 ふじみ野オープン交流会
NPO法人プラスチックマテリアルリサイクル推進協議会

<市町村等会員(25者)>

さいたま市 川越市 熊谷市 川口市 所沢市 加須市 東松山市 春日部市 狭山市 羽生市
深谷市 上尾市 志木市 新座市 桶川市 久喜市 富士見市 幸手市 鶴ヶ島市 ふじみ野市
伊奈町 上里町 寄居町 大里広域市町村圏組合 志木地区衛生組合

<埼玉県>

環境科学国際センター 産業技術総合センター 産業廃棄物指導課 資源循環推進課(事務局)

事務局(発表者):資源循環推進課

<2>

部会における背景(課題)・目的等について

1 背景

- ・ プラスチックを取り巻く国内外の状況(海洋プラスチック問題、気候変動問題等)
- ・ プラスチック資源循環促進法の施行(市町村でのプラ一括回収、事業者の自主回収及び再資源化)

2 目的

プラスチック廃棄物の排出抑制とプラスチック資源の循環利用の促進

3 事業概要

- ・ 出口戦略(何を集め、何を作れば需要につながるか)を見据えた循環利用モデルの構築
(「消費者の意識啓発」も含む)
- ・ 分別・回収方法の検証

部会で検討・実施した取組等について

①市町村の分別収集支援 (分別・回収方法の検証)

- 桶川市、上尾市、伊奈町の協力のもと、家庭から出るプラスチックごみの現況調査や循環利用するための効率的な回収方法を検証
学校・公民館などで、会員からの意向を踏まえ選定した品目(クリアファイル等9品目)を回収(7~12月)



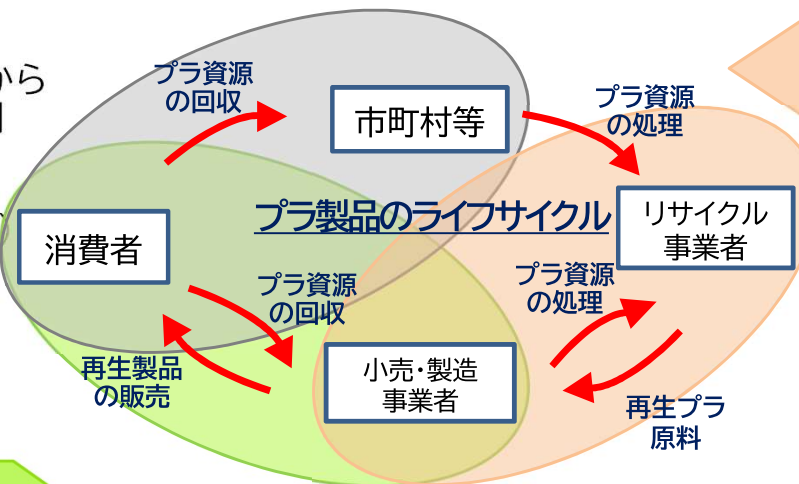
回収されたプラスチックごみ

②ライフスタイルの変革 (若者への意識啓発)

- 若者が多く利用するパルコと共同で衣類回収等のキャンペーンを展開(10月)
- リサイクル事業者(川上産業)に製作を委託したプラリサイクル動画等を授業で視聴後、校内に回収ボックスを設置して、梱包材等を回収(11月~)



浦和パルコでのイベント



③新たな循環利用モデルの構築 に向けた実証実験

- 製造業者(花王、ライオン、ユニリーバ・ジャパン)や小売・卸売業者(ケーヨー、あらた)、リサイクル事業者(エコバンク、川上産業、キムラセンイ)と連携し、プラスチックの店頭回収を実施(9月~)
- 回収した梱包材や容器等のプラスチック製品は、ゴミ袋やプランター等にリサイクル
- 回収した衣類は、古着としてリユース又はフェルト等にリサイクル

部会で検討・実施した事業・取組等について

①市町村の分別収集支援（分別・回収方法の検証）

【第Ⅰ期】(7～8月)

桶川市の協力のもと、家庭から排出されるプラごみの状況について調査

(ステーション回収・拠点回収【有人】)

→ プラごみの日にステーション(集積所)へ出されたごみは、ほぼ汚れてしまっていた

指定した拠点へプラごみの持参を依頼した調査では多くが粗大ごみ



ステーション回収で集められた緩衝材



拠点回収で集まったプラごみ

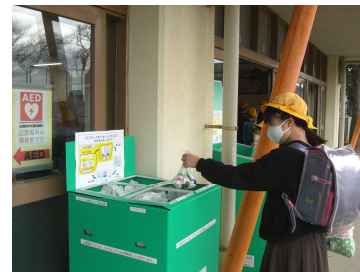
【第Ⅱ期】(11～12月)

上尾市・伊奈町の協力のもと、マテリアルリサイクルに資する品目に限定し、市町村が実際に導入しやすい方法を調査（学校回収・拠点回収【無人】）

→ 企業会員から要望のあった品目を回収

緩衝材等をポリ袋の原料として再生利用
回収箱(無人)で約1か月間回収したが、

プラ以外のごみの混入はなかった



上尾市立大石北小学校での回収の様子



ゆめくるに設置した回収ボックス

部会で検討・実施した事業・取組等について

②ライフスタイルの変革（若者への意識啓発）

【ファッションリユース&リサイクル@浦和パルコ】

企業会員及び県の連携により、衣類(素材を問わず)の回収キャンペーンを実施(10月)

- <浦和パルコ> 消費者からの衣類回収、食事券の提供
- <キムラセンイ> 回収した衣類の購入、リユース・リサイクル
- <川上産業> 回収用のボックス製造、使用済袋の再製品化
- <埼玉県> 回収ボックス・袋の調達、人員提供

※ 回収ボックス・袋はリサイクル資源で製造
回収時に使用したポリ袋は再度リサイクル資源として使用

1,301人から約1.7トン进行回収し、全量リユース・リサイクル



部会で検討・実施した事業・取組等について

③新たな循環利用モデルの構築に向けた実証実験

【店頭でのプラスチック資源回収】

企業会員(ケーヨー)の協力を得て、ホームセンター等で多く販売される製品の店頭回収を実施(11月)

〔回収品目〕

衣類ケース、ポリタンク、コンテナ、ごみ箱、プランター、洗面器(おけ)、バケツ、シャンプー等ボトル・詰め替え容器

52人から約460kgを回収し、
全量を苗トレイ等にリサイクル



店頭回収で集まったプラ資源

埼玉県から
ケーヨーデイズ上尾店のお客様へお願い
「プラスチック資源回収」のご案内
埼玉県の実証事業にご協力ください！

埼玉県では「プラスチック製品の回収と新たなリサイクル」の仕組みづくりに向けた検討の一環として、今回、ケーヨーデイズ上尾店駐車場特設会場にて、ご家庭から出るプラスチック資源を、以下のとおり回収いたします。

■回収日時

令和3年11月19日(金)～11月21日(日)
10:00～16:00(雨天実施)

■回収するプラスチック資源(以下の8種類限定です。)



- 注意事項**
- ・回収対象のプラスチック資源以外は回収できません。
 - ・テープやラベル、金属等は、剥がす、または取り除いてお持ちください。汚れている場合は汚れを落としてお持ちください。
 - ・濡れている場合は乾かしてからお持ちください。
 - ・回収できない状態のものはお持ち帰りいただきます。
 - ・多段式衣装ケースや大きいごみ箱など粗大ごみに該当するものでも、上記回収対象プラスチック資源であれば無料でお引き取りします。
 - ・回収時にアンケートをお願いする場合がございます。

本分野における今後の展開について

- 家庭から排出されるごみのうち、マテリアルリサイクルに適した品目の調査・検討及び地域、実施店舗数を拡大して分別・回収を行い、回収モデルを発信
- 会員によるアライアンス(ワーキング・グループ)により、商品化に向けた課題を解決し、一部モデル製品化
- 会員と連携し、リサイクルへの機運醸成と需要喚起を促進

里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

構成メンバー(18者)

県みどり自然課 県土地水政策課 県森づくり課
(公財)埼玉県生態系保護協会 秩父広域森林組合
(株)ノヴァ (株)武蔵野銀行 東松山市
望月印刷(株) (株)自然教育研究センター
飯能市 (一社)埼玉しあわせ未来基金
(特非)埼玉ハンノウ大学 (株)Akinai (株)住田工務店
獨協大学経済学部大竹ゼミ (株)埼玉りそな銀行
森のフィールド学舎

事務局(発表者):みどり自然課

<1>

部会における背景・課題等について

①維持管理(=更新)の担い手不足、
経済的な流れが十分でないこと。

②多くの人々が「楽しめるアクティビティ」として緑の管理や活動に関わり、
楽しさを共有することが大事。

③持続的な関わりを生み出し、循環させ、
未来に引き継ぐこと。



- ・新たな管理・活用のあり方を提案
- ・関わるができる場や機会の創出
- ・里山や平地林などの自然環境の価値向上

メンバーからの意見・アイデア(新たな事業・取組)等について

放置された里山平地林の活用 ～ 持続的・循環型となる仕組み ～



木質バイオマスボイラーの熱源



長期間放置された里山を管理。間伐、作業道整備で発生した木材を利用し、ボイラーの熱源とする。

加工品(酒)への利用



里山内の整備した場所に、酒の原料(香りづけ)となる香木を植樹、有機JAS栽培。

< 今後の展開 >

障害者・シニア雇用

+

里山平地林の利活用

=

SDGs

(誰一人取り残さない

社会の仕組み)

を実現

メンバーからの意見・アイデア(新たな事業・取組)等について



▲山間部でも使えるハンモックテント



▲薪割り体験。薪はストーブ用として販売も



▲薪置き場として収益を生み出す

【山主と使いたい人をマッチングする事業】
使われていない山をフィールドに、
やる気とアイデアを持った人が集まるコミュニティを作ります。
大切なのはみんなが「楽しい」ことです(理屈は不要！)。

メンバーからの意見・アイデア(新たな事業・取組)等について(案)

森林ワーキングホリデー

次世代継承を目指した欧州式保全活動と地域活性化活動



NPO埼玉ハンノウ大学+ノヴァ(株)でトライアルプログラム実施予定

- ・豊かな緑を次世代につなげるため、里山・平地林等の保全活動を「楽しめる・地域の魅力を高める」アクティビティとして実施。
- ・環境保全を通じた関係人口を創出する(参加者を県外からも集める)とともに、実施フィールドをブランド化。

① 県内の緑の保全活動の担い手不足の調査
② ワーキングホリデー開催候補地(複数)の選定
③ ワーキングホリデー内容を候補地と共に構築

④ 全国からアクセス可能な魅力あるWebサイト制作
⑤ ワーキングホリデーの実施
⑥ 参加者参加型の活動レポートも含めたSNS等の配信集客の繰り返し

彩の国 森林ワーキングホリデー
基本システム(仮称)

具体的な事業の流れ。自治体や市民参加型の持続可能な運営を目指す。

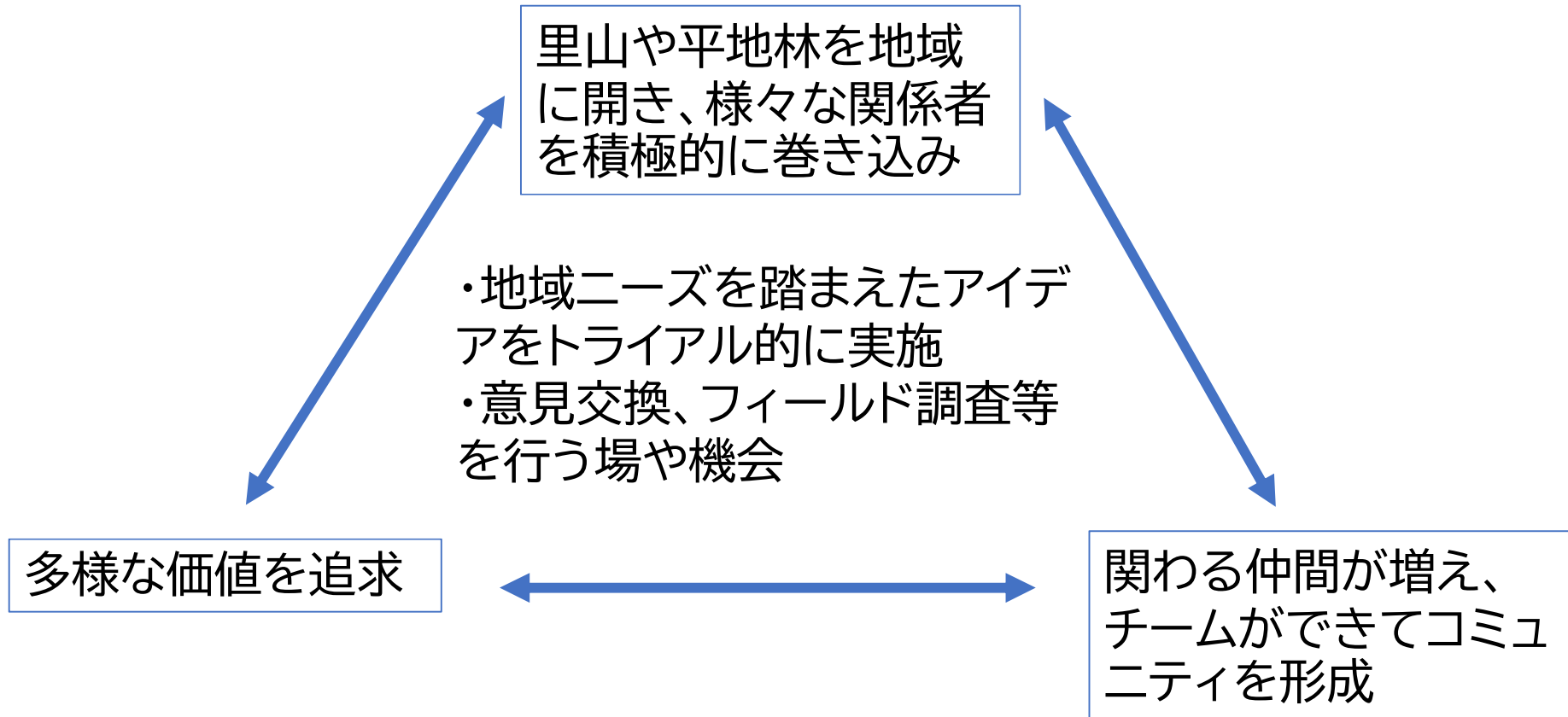


里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<5>



今後の展開について



カーボンニュートラルの実現に向けた検討部会

構成メンバー(23者)



青木信用金庫



カネパッケージ(株)



環境省関東地方環境事務所



(特非)環境ネットワーク埼玉



(株)警備ログ

(特非)埼玉環境カウンセラー協会



埼玉県信用金庫



(公財)埼玉県生態系保護協会



埼玉りそな銀行



(株)彩の国でんき



(株)高砂建設



(株)テレビ埼玉



東京ガス(株)埼玉支社



日本工業大学



飯能市



飯能信用金庫



東松山市



ふじみ野オープン交流会



古河産業(株)



毎日興業(株)



武蔵野銀行

県森づくり課

県温暖化対策課

事務局(発表者): 県温暖化対策課

<1>

部会における背景・課題等について

カーボンニュートラル実現の主要要素

省エネ・省資源の徹底
再エネの利活用

CO2吸収源の確保

SDGs目標達成は、
カーボンニュートラル実現につながる

検討の視点

森林の持つ主な保全機能

水源の涵養

生物多様性の保全

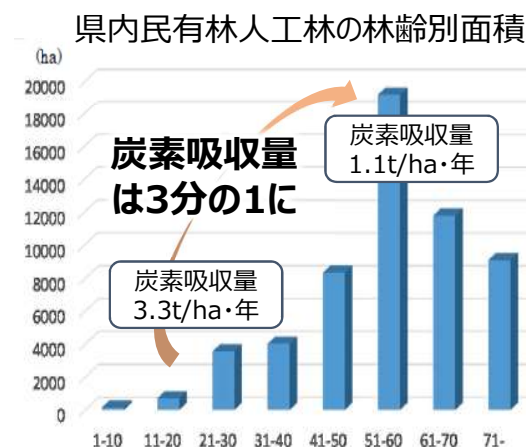
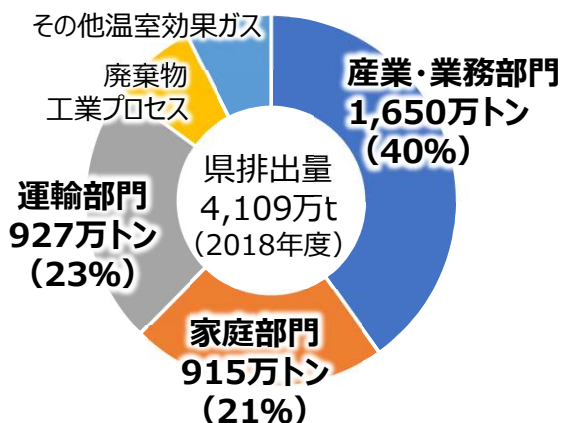
CO2の吸収・貯蔵

✓ 分科会テーマ「水とみどりを守り育む」視点

**「CO2の吸収」を軸とした森林の
活性化が必要**



✓ カーボンニュートラル実現に向けた視点
**企業の取組や県民一人一人の
「行動変容」が重要**



メンバーからの意見・アイデア等について

step1

参加者からの自由提案

step2

3つのテーマによる検討

step3

結合したアイデアによる検討

県産材利用のメリットを
利用者に示せる取組や
事業

カーボンニュートラルは
我々一人一人の課題。
県民に何ができるか

埼玉県版のカーボン
ニュートラル商品の認証
制度ができないか

中小企業も含めた
省エネ・創エネの取組。
インセンティブの付与

カーボンニュートラルや
森林に貢献する製品の
表示による消費者への
意識付け

etc

森林整備における
課題とその解決策

森林整備促進、県産材利用

カーボンニュートラルに
貢献する製品の
認証制度づくり

カーボンニュートラル
貢献商品、
県民一人一人に
何ができるか

カーボンニュートラルの
取組を中小企業も含め
県全体に広める手法

中小企業の動機付け、行政のインセンティブ

ポイント制度を活用
して県民（需要）
と企業（供給）の
環境配慮型による
行動変容を促進

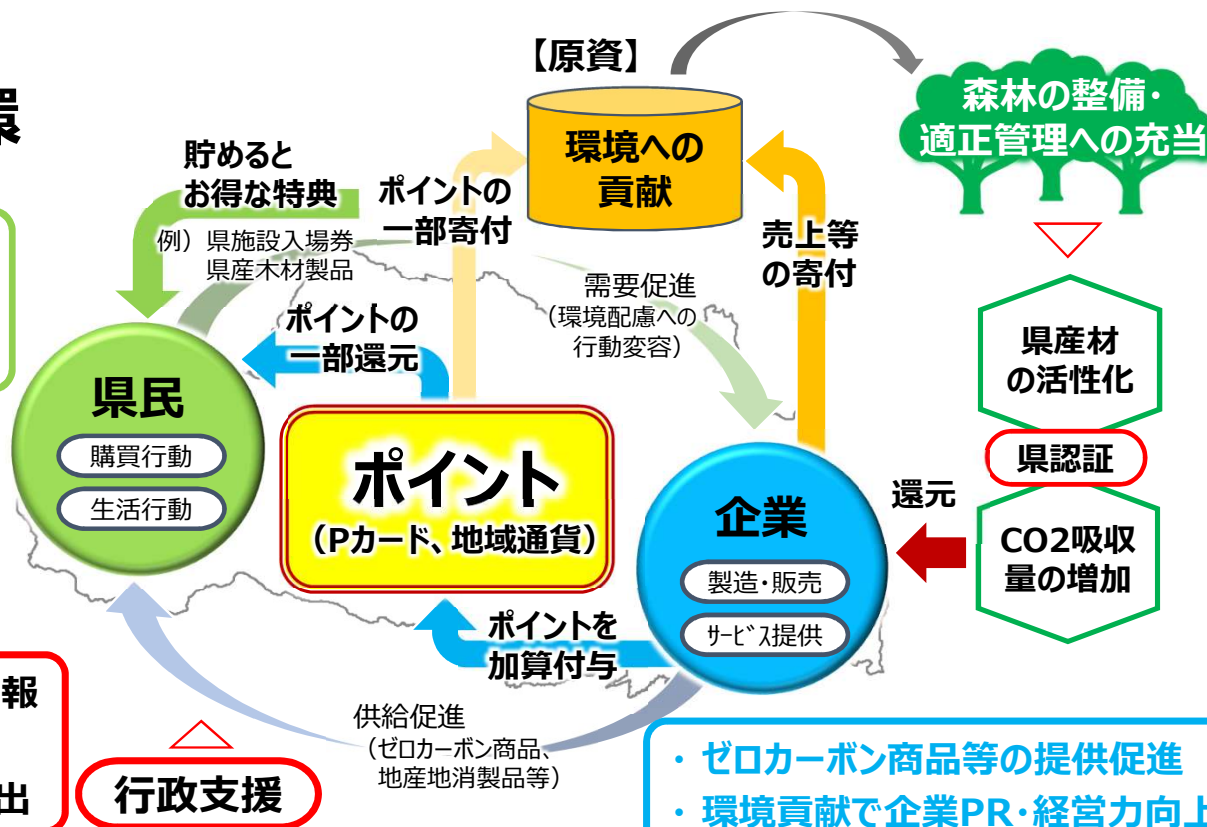
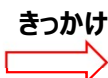
部会で検討された新たな事業・取組等について

ポイント制度で 行動変容の好循環

- ・ 日々の生活・行動の中で実践
- ・ ポイント還元で“楽しく”継続
- ・ ポイント寄付で環境貢献実感

【導入】

埼玉版SDGs推進アプリ
「S³エスキューブ」



- ・ 取組の効果を分かりやすく広報
- ・ 県民・企業の取組を後押し
- ・ 市町村とも連携し好循環創出

- ・ ゼロカーボン商品等の提供促進
- ・ 環境貢献で企業PR・経営力向上
- ・ 森林CO2吸収還元でインセンティブ

【活用】「食とくらしのグリーンライフポイント推進事業」(環境省)

【広報例】

□ 効果想定

仮に1,000万円の寄付で
整備した森林のCO2吸収量
を算出した場合※

約160t-CO₂/年

※「県森林CO2吸収量認証制度」より
(入間地区・スギ・7齢級・20年生超、
農林公社管理費)

□ 効果広報

1ポイント=1円として



10ポイント
でコバトンの
ぬいぐるみと
同じ重さの
CO2吸収量

17万ポイント
で1世帯の
年間CO2
排出量と同じ吸収量



本分野における今後の展開について

**SDGs目標達成
の先にある
カーボンニュートラル
の実現を目指して**

2050年
カーボンニュートラル
達成目標

2030年
SDGs達成目標



現状

Step3

目指す姿

県民の環境配慮行動や
企業のカーボンニュートラル貢献商品・サービスが
当たり前になった社会へ

Step2

定着、発展を
目指して

県民の環境配慮行動
(継続的な生活行動へ)

企業の更なる参画促進
(登録認定商品のスキームを検討)

Step1

取り組みやすい
スキームから

県民の環境配慮行動
(単発的な購買行動から)

企業のカーボンニュートラル貢献商品・サービス提供
(SDGs官民連携プラットフォーム企業など)

当部会の
検討取組
(ポイント制度)

水辺空間及び都市公園等の持続可能な利活用に関する検討部会

構成メンバー(34者)

県河川環境課 県水環境課 県公園スタジアム課 (一社)埼玉県浄化槽協会
(株)E-PAND 明治安田生命保険相互会社 (株)コミュニティネット
(公財)日本釣振興会埼玉県支部 マルキュー(株) (株)シンプランニング
(株)テレビ埼玉(海と日本プロジェクトin埼玉県実行委員会) (株)PARQUE
(公財)埼玉県生態系保護協会 毎日興業(株) (株)ヴェルペンファルマ
東松山市 獨協大学経済学部国際環境経済学科米山ゼミ (株)埼玉りそな銀行
(株)80% (特非)埼玉ハンノウ大学 (株)CAWAZ (株)温泉道場
古河産業(株) (株)ブルーオーシャン研究所 (株)Akinai
ふじみ野オープン交流会 (株)住田工務店 (一財)埼玉しあわせ未来基金
ニッコー(株)埼玉工場 (株)アイエフラッシュ (株)ナレッジステーション
GSRコンサルティング(株) MET Design Home(株) (株)スキーマ

事務局(発表者):河川環境課

部会における背景・課題等について

【背景】



ヨハン・ロックストローム氏(ストックホルム・レジリエンスセンター所長)の図



環境学者
ヨハン・ロックストローム博士

「水とみどり」を守り育む

ことは非常に重要なこと

SDGsのベースは環境

- スウェーデンの環境学者、ヨハン・ロックストローム博士による“SDGsの概念”
- 「経済」は、生活や教育などの社会条件により成り立ち、「社会」は最下層の「環境」、つまり自然環境により成り立つ

部会における背景・課題等について

【背景・課題】

- ①企業等のアイデアを水辺活用や公園経営に活かした賑わい創出と共に地域住民や企業等による水辺の保全と経済活動の両立が必要
- ②新たな水辺活用・公園経営のアイデアや地域振興ノウハウを持つ企業・団体等と川との共生を目指し水辺を大切に利活用したい企業・団体の発掘・連携が求められている

→持続性する新たな官民連携協働スキームの構築が必要

メンバーからの意見・アイデア等について

【行政の取組から連携提案】

「オーダーメイドの水辺づくり」に企画段階から企業参画

- カフェ、レストラン、BBQ施設、キャンプ場、有料釣場の設置・運営
- 太陽光発電、小水力発電など川を活用した再エネ活用で地域振興
- 利活用が見込まれる調節池の水質浄化、アオコ対策など

リバサポ でマッチング

- 川を守るSDGsの取組や水辺空間でのビジネスに取り組んでみませんか？

公園や動物園での魅力向上、環境改善における連携

- 池の水質浄化、樹林の間伐など、公園の課題を解決する取組
- カフェ、レストラン、BBQ施設、子供の屋内遊び場などの設置・管理・運営

メンバーからの意見・アイデア等について

- ・ **キーワード（連携、マンパワー、教育、広報、環境保全）**

地域振興、シビックプライド、マイクロツーリズム、まちづくり会社、DMO、パークPFI、マッチング・ハブ、再生可能エネルギー、ワーケーション、ボランティア、茶屋、水辺のアクティビティ、釣り場整備、川育、釣育、水辺環境美化、水質改善・維持・保全、自然・環境教育、浄化槽広報、芸術振興

- ・ **個別テーマを設定→グループ分け**

- ・ **具体的なフィールド（河川・公園）でプロジェクト立上げ**

入間川（飯能河原）	ブランディング、教育、交流、ハブ、環境保全
高麗川（巾着田周辺）	地域振興、ワーケーション、交流、再生可能エネルギー
新河岸川（寺尾調節池）	茶屋、水辺のアクティビティ、教育、交流
大宮公園	魅力アップ、ボート池浄化、パークPFIなど多様な主体の運営

- ・ **リバサポによるマッチング**

改めて自然環境保全の視点を

部会で検討された新たな事業・取組等について

プロジェクト河川の目的

環境、社会、経済の三側面から豊かな自然と共生しながら持続的に発展する埼玉の実現

●川の国埼玉の将来像

魅力的な水辺空間が県民の大切な財産として
守り育てられ、人々がにぎわう埼玉の豊かな川

●現状・課題

- 治水安全を前提とした河川空間の利活用
- 広大なスペースを活用した地球温暖化対策の推進
- 多様な主体と連携した水辺空間の美化や保全

令和3年度の取組

- 入間川（飯能河原）
地域課題解決、ブランディング
部会メンバーから飯能市へ
利活用・教育・環境保全の提案
フィールドワーク
- 高麗川（巾着田周辺）
現地での部会開催
地域振興、ワーケーション、川とサウナ
日高市から水辺deベンチャーへ申請
- 新河岸川（寺尾調節池）
身近な河川からの提案、マッチング
川越市へ地域課題解決提案、フィールドワーク



部会で検討された新たな事業・取組等について

プロジェクト大宮公園の目的

○悪化した池の水質の改善、維持

⇒かいぼりの実施

○修景池を活用したにぎわいの創出

⇒貸しボート事業の復活

●大宮公園の将来像

多くの人々が愛着を感じ、多用な主体による公園運営が実践され、大宮公園の魅力がさらに高まっている。

●現状・課題

○池の水質悪化により、悪臭や景観に対する苦情

○多用な主体による公園運営がなされていない

令和3年度の取組

○かいぼり実施の検討

- ・先進事例調査（上尾丸山公園）
- ・氷川神社内（ほたるの会）講習会参加
- ・大宮アルディージャとの協力体制の確立

○貸しボート事業の検討

- ・さいたま市観光国際協会との調整



将来イメージ(大宮公園ランドデザイン)



かいぼりの効果を確認するため継続してモニタリングを実施

部会で検討された新たな事業・取組等について



SAITAMAリバーサポーターズプロジェクト リバサポによるマッチング

明治安田生命保険相互会社埼玉本部・越谷支社
から車いす利用者のヨット乗降用リフト寄贈



明治安田生命



部会で検討された新たな事業・取組等について



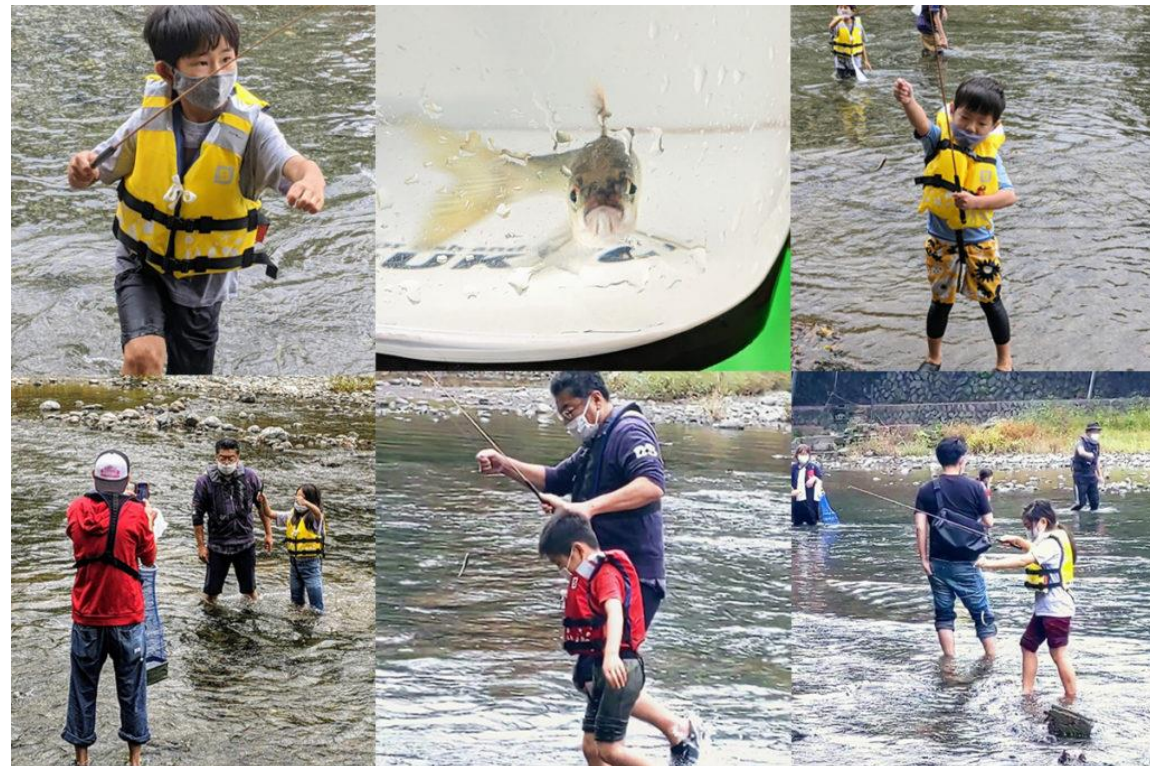
SAITAMA / リバサポ-プロジェクト

SAITAMAリバーサポーターズプロジェクト リバサポによるマッチング

リバービーチキャンパス第一弾 筏づくりとはじめての川釣り



手作りいかだで川下り!



水辺空間及び都市公園等の持続可能な利活用に関する検討部会

<9>



SDGs 未来都市
埼玉県

本分野における今後の展開について

河川においては、今年度のプロジェクト箇所の事業化と新たなフィールドでの展開に官民連携プラットフォーム部会を活用していきます。

公園では大宮公園でのプロジェクトの進捗と多様な主体による公園運営の検討を進めていきます。

これらの事業展開にリバサポによるきめ細かいマッチングを活用し水辺空間及び都市公園等の持続可能な利活用を盛り上げていきます。